

かえる倶楽部タイムズ

特集

「低侵襲心臓手術(MICS)について」

当院、心臓血管外科では、患者様の病状に合わせて最適な心臓血管手術をご提供しております。その中でも適応がある方には、**積極的に低侵襲心臓手術を行っております。**

MICS(minimal invasive cardiovascular surgery)は、特に僧帽弁形成術、大動脈弁置換術、冠動脈バイパス術の方を対象として、**右肋間、胸部正中、左肋間から6~10cm程度の傷で手術を行います。**

最も多い手術は、**僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術**です。
大腿動静脈を用いて人工心肺を確立し、心停止の上、右第4肋間からアプローチし、僧帽弁の形成を行います。

創部が小さく侵襲を抑えることで術後5日から1週間程度での退院が可能です(図1)。



図1 MICSによる僧帽弁形成術後



図2 MICSによる
大動脈弁置換術後

また、**大動脈弁置換術**は、通常であれば胸部正中を縦に大きく切つての手術となりますが、**胸骨の部分切開での手術が可能であり、低侵襲化はもちろん、術後の胸郭の安定化が望めます(図2)。**

そのほかにも、心房中隔欠損症や三尖弁閉鎖不全症に対する右肋間小開胸でのアプローチも可能ですので、患者様のご希望、全身状態に合わせた治療内容、アプローチをご提案いたします。



冠動脈バイパス術においても、内胸動脈を用いた多枝バイパス術を**左肋間小開胸での手術が可能です**。同じ創部から、内胸動脈の剥離を行い、大伏在静脈も併せて用いて心拍動下での多枝バイパス術を行います。左肋間からアプローチにより、心臓の脱転を少なくすることができ、循環が安定した状態での吻合が可能となります。術後の造影CTできれいに吻合されていることがわかります(図3)。

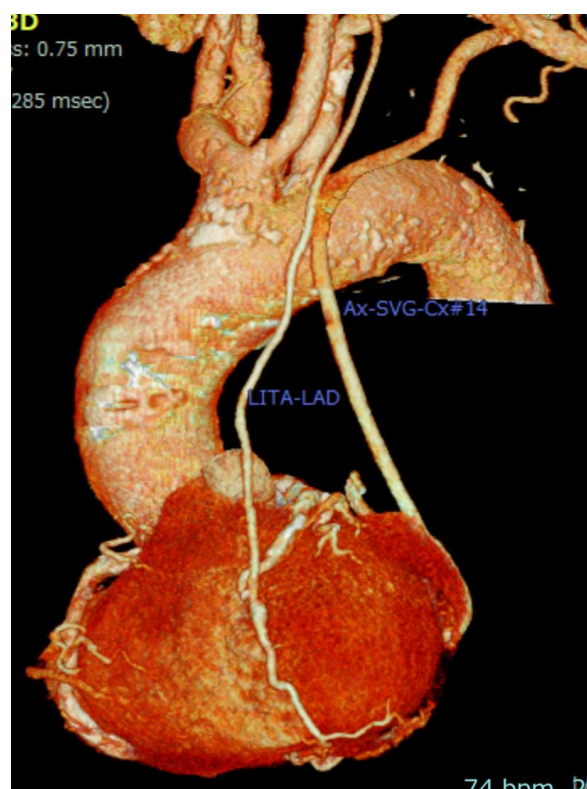


図3 MICS-CABG術後の冠動脈CT

大伏在静脈の採取は通常は20~30cmの皮膚切開が必要ですが、**当院では内視鏡的に採取を行っているため、創部は大腿膝上に2cm程度とのみとなります。**創部を小さくすることで、**創部の疼痛や創部感染のリスクを抑えることが可能となり非常に低侵襲となります(図4)。**



図4 内視鏡的大伏在静脈の膝上大腿内側の切開

裏面に続く

【対象疾患】

僧帽弁閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症、三尖弁閉鎖不全症、大動脈弁閉鎖不全症、大動脈狭窄症、狭心症、心房中隔欠損症、心房細動など

【対象手術】

僧帽弁形成術、僧帽弁置換術、大動脈弁置換術、冠動脈バイパス術、心房中隔欠損閉鎖術、不整脈手術（メイズ手術、左心耳切除術）など

当院は、このようなMICSによる低侵襲手術を初めとして心臓血管外科領域のあらゆる手術が可能ですので、患者様に最適な治療方法をご提案し、安全な治療をご提供いたします。

MICS手術を含め心臓血管外科開設以来、年々の症例数は、増加しております(図5)。

先生方がお困りの患者様がおられましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。



末永 悦郎 心臓血管外科部長

長崎晴光会病院心臓血管外科部長、榊原記念病院副部長を経て2016年より当院心臓血管外科部長として着任。今までに3000例の開心術を執刀。

 関西電力病院 循環器ホットライン

050-7102-7414

24時間循環器内科医が対応します。
緊急時はホットラインに御連絡下さい。

先生方からの御紹介を心よりお待ち申し上げます。
どうぞよろしくお願いいたします。

【地域医療連携室】

平日 8:30～19:00、土曜日 8:30～12:00

TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347

関電病院におけるMICS施行数

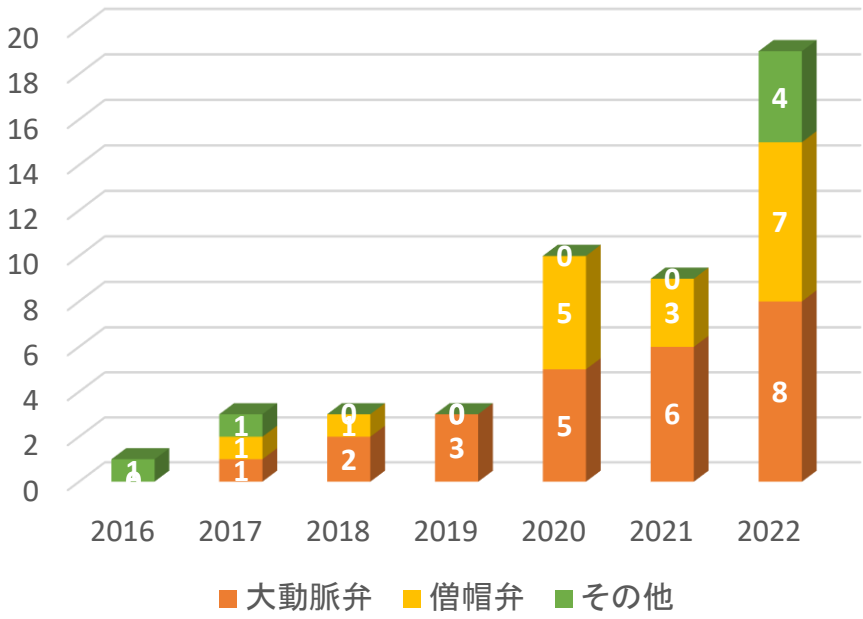


図5 当院におけるMICS心臓手術数の推移

関西電力病院
心臓血管外科
部長 末永 悦郎

医学博士
日本外科学会 専門医・認定医・指導医
日本胸部外科学会 認定医・指導医
心臓血管外科 専門医
日本低侵襲心臓手術学会 認定医
腹部ステントグラフト実施医
胸部ステントグラフト実施医

お知らせ

「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院特任院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日（午前）

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook

 Facebook

<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>



Twitter

 Twitter

https://twitter.com/kanden_hsp

